基本目標３　快適な生活環境の確保

①健康の確保

生活環境の保全は、市民の最も関心の高いテーマと言えます。典型７公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）については改善の傾向が見られますが、大気汚染や水質汚濁では一部環境基準を超過する項目もあります。近年では、市民の関心は野焼きや生活騒音など都市生活型の問題にシフトしつつあり、公害苦情として顕在化しています。これら公害苦情の多い事項に関する情報提供や改善指導を積極的に行うなど、近隣環境への配慮意識の向上を図ります。

②景観整備

小牧山をはじめとした優れた自然景観をまちづくりに活かすとともに、整然とした都市景観の形成と、まちの美観の向上に努めます。

環境テーマ	指　標	基準値 平成30年度	目指す方向	進捗状況 令和２年度	令和３年度	令和４年度	達成
①健康の確保	大気汚染に係る環境基準達成状況（一般環境大気測定局 SO_2、NO_2、SPM、Ox）	75 %	全項目で環境基準達成	75 %	75 %	75 %	
	水質汚濁に係る環境目標達成率（河川 BOD 8 mg/L以下）	95 %	100%維持	97 %	95 %	97 %	
	騒音に係る環境基準達成率（環境騒音）	100 %	100%維持	100 %	100 %	100 %	
	公共下水道普及率	74.9 %	↗	77.4 %	77.8 %	77.9 %	
	汚水処理人口普及率	82.5 %	↗	83.6 %	83.9 %	84.0%	
	公害苦情発生件数	141 件	↘	174 件	179 件	179 件	
②景観整備	クリーンアップ事業の年間参加者数	72,148 人	↗	27,767 人	36,768 人	43, 430 人	

浄化槽転換推進事業補助金　①健康の確保

【　施策説明　】

既存の単独処理浄化槽またはくみ取り槽から、窒素またはリンの処理能力を有する合併処理浄化槽への転換に補助金を交付し、河川の水質保全や快適で住みよい生活環境の向上を図る。

●取り組み・実績

補助金交付：9 基

犬のふん害防止対策　②景観整備

【　施策説明　】

地域ぐるみで犬のふん放置対策を取り組むことにより、飼い主のマナー向上を図る。

●取り組み・実績

広報への掲載、アダプトプログラム登録団体・区長・環境保全推進員に協力を呼びかけて、イエローカード作戦を 2 団体、個人 18 人が実施した。ポイ捨て等の啓発看板を 696 枚配布した。

（イエローカード作戦）

その他の取り組み

テーマ	事　業	内　容
①健康の確保	環境保全協定締結事業所数の拡大	民家近くで操業する工場や、排出ガス・排水などが著しく周辺環境に影響を与える可能性がある事業所については、市と協定を締結し環境保全に努めるよう働きかける。
	下水道整備の推進	下水道整備の進捗を図り、公共下水道供用開始区域を広げ下水道の普及を推進する。 ➢　令和 5 年度供用開始に向け区域面積 39.2 ha を整備
	事業所への立入指導	水質汚濁・騒音・悪臭などの公害苦情への対応や立入測定、完了検査等で、現場確認、調査、指導を行うとともに事案によっては周辺地区への周知を行う。
	工場立地の周辺地域生活環境との調和	一定規模以上の工場等を新設又は大幅な変更を行う場合に、工場立地法に基づき、緑地面積率及び環境施設面積率等の基準を遵守するよう指導する。 ➢　令和 4 年度受理件数 11 件

テーマ	事　業	内　容
②景観整備	「ごみ散乱防止市民行動の日」の活動促進	各種団体や広報・ＨＰでＰＲし、クリーンアップ事業に係る活動の促進・定着化を図るとともに規模を拡大させる。 ➢ クリーンアップ事業の参加人数 43,430 人 ➢ 「ごみ散乱防止市民行動の日」の参加人数約 550 人
	路上喫煙禁止区域の設定	路上喫煙禁止区域の啓発と定着化を目指す。 ➢ パトロール（144 日）を実施。喫煙者 17 人を指導 ➢ 広報、ＨＰへ啓発記事を掲載 ➢ 路上喫煙禁止区域の街頭監視及び啓発を実施
	文化財所在地の環境整備	文化財の所在環境の維持、指定天然記念物の生育環境保護等のために文化財所在地の環境整備を進める。 ➢ 除草剪定作業・病害虫防除作業、指定天然記念物の環境保護を行った。
	小牧山発掘調査	令和 4 年度から令和 5 年度にかけて実施する史跡小牧山主郭地区整備に向けて史跡小牧山主郭地区第 3・4 工区発掘調査を実施する。 ➢ 歴史館東側斜面 176 ㎡について発掘調査を実施し、織田信長による小牧山城築城時の石垣や玉石敷遺構を確認した。 ➢ 発掘調査結果について現場公開を実施（2/16～2/18 930 名参加）
	小牧山史跡整備	小牧山城の歴史的価値や魅力を市民へと伝えるため、史跡小牧山主郭地区第 1 工区整備工事を行う。 ➢ 小牧市歴史館の西側 555 ㎡を整備し、織田信長が築いた 3 段の石垣を復元した。

評　価

大気汚染や水質汚濁、騒音の生活環境に密接に関係のある環境基準については、光化学オキシダント以外は基準値を達成している。公害苦情発生件数は前年度と横ばいとなっているが、大気汚染や水質汚濁等、その発生原因は多種多様に及んでいる。

景観整備では、市民参加型事業の促進または定着を進めており、前年度と比較して市民の参加者が増加した。今後も小牧山城の持つ歴史的価値や魅力をより多くの市民にわかりやすく伝えることができるよう、周辺環境の美観向上や市民への周知方法を検討する必要がある。